問題を指摘した場面の KPI記録シート

週間記録 ／ 指摘時の考え・改善行動の共有と、認識違いによる同じ問題の再発を振り返る

現場名：＿＿＿＿＿＿＿＿　監督：＿＿＿＿＿＿　職長：＿＿＿＿＿＿

記録期間：　　年　　月　　日 ～　　月　　日

1　起きた事実と相手の考えを確認し、次の改善行動を決める

対象作業・指摘した問題（起きた事実）：

本人に確認した考え・指摘内容の受け止め方：

共有した次の改善行動（誰が・いつ・何をするか）：

共有した確認方法（いつ・誰が・何を見て改善できたと判断するか）：

2　終業時に記録する

プロセスKPI：問題を指摘した場面で、相手の考えを確認し、次の改善行動を共有できた回数

結果KPI：指摘内容や確認方法の認識違いによって、同じ問題が繰り返された件数

日付	相手の考えを確認し 改善行動を共有した回数	指摘内容・確認方法の 認識違いによる再発件数	指摘内容・相手の考え／改善行動 再発した問題・認識違いの内容
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
合計	回	件	

※ 回数：問題を指摘した際に相手の考えを確認し、次の改善行動まで共有できた一連の機会を1回とします。
※ 件数：以前の指摘内容・確認方法の認識違いで、同じ問題が再発した事案を、判明日に1件とします。
※ 同じ再発事案は重複計上せず、初回の問題・他の原因による再発は除外。該当なしは「0」、休日は「休」。

3　気づきと、指摘の伝え方・改善行動・確認方法を見直すこと

人を責めるためではなく、指摘内容と確認方法の理解をそろえ、同じ問題の繰り返しを減らすために使います。